

障がい児者在宅ケア専門技術研修（呼吸介助手技実技講習）

重症心身障がい児者の多くが呼吸器障害を呈しており、呼吸器ケアはその看護において必須と言えることから、県では換気改善、排痰を目的として行われる呼吸介助手技の看護師向け実技講習会を下記のとおり開催いたします。

この研修は、昨年度重症心身障がい児者看護人材育成研修を実施し受講生から高い評価を受けるとともに、より実践的な内容を学びたいとの要望を受けたことを踏まえて開催するものです。

都道府県が重症心身障がい児者看護人材の育成について実技を伴う専門的な講習会を開催するのは珍しく、先駆的な講習会となっております。

今回の研修を受講された方のうち更にスキルアップされたい方は 8 月に別途行われる岐阜県内部障害リハビリテーション研究会主催の呼吸介助手技実技講習会を受講することができます。

- 【開催日】 平成 27 年 5 月 30 日（土）～31 日（日）
- 【会場】 平成医療短期大学（〒501-1131 岐阜市黒野 180）
- 【対象者】 医療機関、福祉施設の看護師で受講を希望する者
- 【定員】 40 名（岐阜県看護協会が実施した重症心身障がい児者看護人材育成研修の平成 26 年度修了者等 25 名は別途募集済み）
- 【募集人数】 15 名
- 【講師】 西脇 雅（訪問看護ステーション やすらぎ）
日本肺理学療法公認呼吸介助手技インストラクター
- 【申込み】 申込書に必要事項を記入し、岐阜県地域医療推進課小川宛に郵送、FAX 又はメールによりお申込みください。
申込期限：平成 27 年 5 月 11 日（月）

【コースの概要】

- ・ はじめに呼吸介助手技の基礎及び適応・効果などの講義を行った後、手技の基本となる「胸郭運動の確認」と「First touch」の実習から開始し、「仰臥位、側臥位、座位の各姿勢における基本的呼吸介助手技」の実習を行います。
- ・ この講習会は実技講習会であり、主にデモンストレーションと実習を実施します。
- ・ 8 名の受講者を 2 名のインストラクターが指導し、2 日間で安全に換気促進ができる呼吸介助手技の習得を目指します。

【目的】

仰臥位、下部胸郭の呼吸介助手技を安全に実施し、換気促進を図ることができる。

【到達目標】

1. 呼吸介助手技の理解を深める
2. 基本的な呼吸介助手技を安全に実施できる
 - ・痛み、不快感を与えない
 - ・介助のタイミングが適切
 - ・介助の方向が適切
 - ・介助の力が適切
3. 胸郭や呼吸状態の違いに合わせて手技を適用できる。

【プログラム】

平成 27 年 5 月 30 日（土曜日）

- 8 : 30～9 : 00 受付
- 9 : 00～9 : 10 オリエンテーション
- 9 : 10～10 : 00 講義 「呼吸介助手技の基礎」
- 10 : 10～11 : 00 講義と実習「フィジカルアセスメント」
- 11 : 00～12 : 00 実習「胸郭運動の確認」「First touch」
(昼食・休憩)
- 13 : 00～14 : 50 「仰臥位、下部胸郭の呼吸介助手技」
- 15 : 00～15 : 50 「側臥位、下部胸郭の呼吸介助手技」
- 16 : 00～16 : 40 「連続練習」



平成 27 年 5 月 31 日（日曜日）

- 9 : 00～9 : 20 「下部胸郭の呼吸介助手技の復習」
- 9 : 20～10 : 10 「下部胸郭の呼吸介助手技の個別指導」
- 10 : 20～11 : 10 「shaking（仰臥位、下部胸郭）」
- 11 : 20～12 : 10 「仰臥位、上部胸郭の呼吸介助手技」
(昼食・休憩)
- 13 : 00～13 : 50 「座位、上部胸郭の呼吸介助手技」
- 14 : 00～14 : 40 「連続練習」
- 14 : 50～15 : 30 「習熟度チェック」
- 15 : 30～15 : 50 「質疑応答」
- 16 : 20～16 : 30 閉会式

お問い合わせ・申込先

岐阜県 地域医療推進課 障がい児者医療推進室

主事 小川 栄介

岐阜市藪田南 2 - 1 - 1

TEL 058-272-1111 内線 2627

E-mail ogawa-eisuke@pref.gifu.lg.jp